

## 地中レーダーを用いた海浜堆積物の高精度イメージング計画とその成果

### Height-resolution imaging project of the beach sediments using grand-penetrating radar (GPR) and their results

# 七山 太 [1]; 村上文敏 [2]; 田村 亨 [3]; 渡辺 和明 [4]; 斎藤 文紀 [5]

# Futoshi Nanayama[1]; Fumitoshi Murakami[2]; Toru Tamura[3]; Kazuaki Watanabe[4]; Yoshiki Saito[5]

[1] 産総研 地質; [2] 産総研・地質情報; [3] 産総研・地調; [4] 産総研; [5] (独)産総研・海洋資源環境

[1] GSJ/AIST; [2] AIST,IGG; [3] GSJ/AIST; [4] AIST; [5] MRE, AIST

沿岸低地は地球上で最も地形変化等の大きな地域であり、自然環境の変動や人間活動によって大きく変化してきた。現在の海岸平野は、過去6千年間の海水準変化の影響を強く受けて形成されており、近年の多くの研究によってその変遷が明らかにされてきている。しかし、将来の環境予測と直結するような、数年から数十年の分解能をもった環境変化史の研究や変化のプロセス研究は、調査解析手法が確立していないこともあり遅れている。本研究プロジェクトの目的は、現世海浜地域や離水した浜堤平野において、地中レーダーを用いて、海浜堆積層を透過する高時間分解能の調査技術を確立し、過去に起こった現象の高分解能の解析から、将来の地震などの急激な沿岸環境変化や、地球温暖化による海面上昇などの影響予測に貢献することにある。本公演においては、我々も研究グループが過去2年間に渡って予察的に実施してきた研究成果の概要を報告する。